

まちづくり会かわら版

第6号

平成25年

8月1日

発行

新加納まちづくり会
会長 小島秀俊

「歴史とまちづくりの集い」来賓として浅野各務原市長
武藤国会議員始め、県・市議会議員、関係団体役員の皆様
そして会員、総勢七十人余が参加し盛大に開催。

六月二十九日(土)午後、歴史と
まちづくりの集い「総会」を新加納
ふれあいセンターで開催しました。

当日は大変ご多忙の中、来賓とし
て衆議員議員の武藤容治様始め、各
務原市長の浅野健司様、県議会議員
の松岡・伊藤様、市議会議員の川島
岩田様にご臨席頂き、又大変丁寧な
ご祝辞を賜り、誠に有難うございま
した。

そして各務原市都市建設部の広瀬
部長・市職員、新加納連合自治会の
伊藤会長、町内の役員、あいの会、
シニアクラブ、小・中学校の役員、
関係者の皆様多数ご出席頂きました。
心よりお礼申し上げます。



衆議院議員 武藤様



各務原市長 浅野様

皆様方のご支援とご協力のお陰で、
新加納まちづくり会も今年で三年目
を迎えました。

第一部 総会

〔平成二十五年度の事業活動〕
一 歴史の町見学会 水奉行高木家ほか
二 まちづくり

市が進める「歴史のまちづくり」への
参画と協力。通学路、駅前広場の整備。
三 郷土の歴史

資料収集、史跡紹介、座学講座開催。
四 児童・中学生
歴史学習会の開催。日吉の蛙PR企画。

特定課題 日吉の蛙 プロジェクト

- ・愛称募集
- ・キャッチコピー
- ・ストラップ
- ・企画など
- ・由緒ある神社視察
- ・ホームページの開設など…
- ・子供中心の取組。

第二部 講演会

一「歴史景観整備とまちづくり」

市都市建設部 建設課 服部課長

二「旗本坪内陣屋跡の発掘調査」

市教育委員会 文化財 渡辺課長

郷土の貴重な歴史を学びました。

中山道間の宿

新加納歴史のまちづくり

榊形部(東西)道路完成!

中山道入口に「間の宿」石柱設置

中山道の「へそ」にあたる榊形部
市道435号線(東西)が完成し、歴
史のまちが蘇りました。

車道4m、両側に2mの歩道を設け
桂の木と足元照明など、歩行者に優し
い道路に一変しました。

市道430号線(南北)は来年三月
完成の予定です。

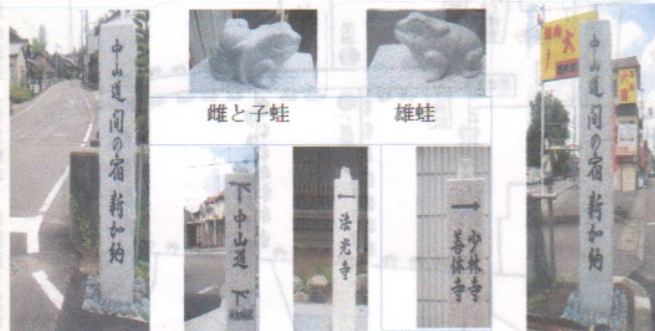
そして、中山道東西の入口には、
「間の宿」の石柱も設置されました。

又道標の上に、懐かしい「蛙」(げえ
ろ)も登場!しました。

これから一里塚、高札場跡案内板な
ど修景工事も始まります。



中山道榊形部 市道435号線完成



西澁川

東大翔

中山道「間の宿」(あいのしゅく)東西に石柱設置

〈お知らせ〉

岐阜県史跡

木曾三川の水奉行

『旗本高木家陣屋跡』

上石津郷土資料館など

見学します。

日時 十月十八日(金)

見学先 大垣市上石津町外

参加者 先着 30名様

〈お申込み〉案内書は後日配布。

歴史を訪ねて「戦国時代」

新加納村と旗本坪内陣屋



坪内氏は、関ヶ原の合戦で東軍徳川家康（井伊直政隊）の鉄砲隊として参戦！東軍勝利に貢献、家康より美濃国の領地を与えられる。その後少林寺・法光寺・東光寺・瑞眼寺を再興した。

〈旗本坪内氏概説〉

加賀国守護富樫氏が始祖。源義経の安宅の関伝説で有名な富樫左衛門の血筋を引く。「歌舞伎・勸進帳」

戦国時代、濃尾の国境をなす木曾川の渡津、松倉城を拠点に川並衆として活躍。信長から重用された。

永禄6年（1563年）

新加納の戦い、信長勢敗退。

織田信長に帰順。信長小牧山城築城開始。

永禄8年（1565年）

信長、坪内氏に鉄砲使用許可状。

永禄9年（1566年）

坪内氏、墨俣築城をめり秀吉から離反。

慶長5年8月22日（1600年）

米野合戦 岐阜城落城

岐阜城の織田秀信と家康方（池田輝政・福島正則）が、木曾川を渡り新加納から川島、笠松村の地域で戦い秀信は降伏した。（関ヶ原の戦いの前哨戦）



坪内嘉兵衛定安像

慶長5年9月15日（1600年）

関ヶ原の合戦 その後「大坂冬・夏の陣」

井伊・松平が宇喜多隊へ発砲し開戦。

鉄砲隊五十人を率いて活躍！徳川家康より五人の連名で、六千八百石の知行所が与えられる。

坪内氏は新加納村に陣屋を築き、美濃国木曾川流域の村々を支配した。

★（松平忠吉は家康の四男・二代将軍秀忠と同母

川井伊直政の娘婿であり関ヶ原が初陣だった。）

新加納宗家（父利定（喜太郎）

（長男）家定（惣兵衛）

（五千石）江戸屋敷に居住。

鉄砲頭、定火消、駿府城代、甲府勤番等

江戸幕府の要職を勤めた。

新加納陣屋直轄地 新加納村・長塚村・大野村・

小佐野村・間島村・米野村・江川村・下中屋村・

松倉村・松原島村など。（御納戸）利定死亡後、二

代目家定が弟三人に領地を分与した。（御内分）

龍慶山少林寺を再興

正保元年（1644年）

信長により焼失した少林寺。

坪内家定は、中興開基、體道

和尚を中興開山として少林寺

を再興した。家定は少林寺を

菩提寺とし保護した

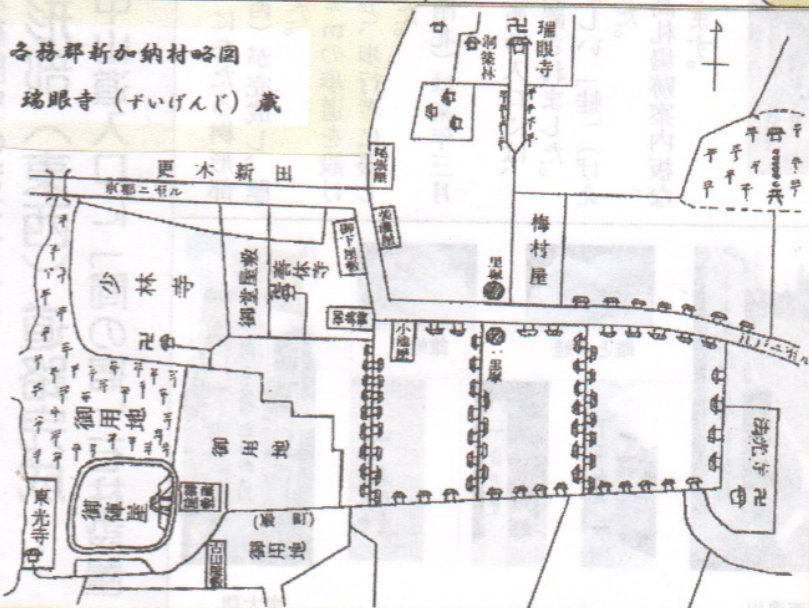
（各務原市指定史跡）

赤備えの井伊直政（○の下、坪内鉄砲隊・州浜の旗と討取った頭を持つ二人の姿。）



各務原新加納村略図

瑞眼寺（ずいげんじ）歳



坪内利定は、各務原台地の西端（新加納村）に陣屋を築いた。

前渡坪内氏（代々嘉兵衛を襲名）

次男、定安（六百石） 上前渡村

平島坪内氏（代々佐左衛門を襲名）

三男、正定（六百石）

平島村・上・下前渡村の一部

三井坪内氏（代々太郎兵衛を襲名）

四男、安定（六百石）

三井村・上戸村・中野村

三人は各地に居住し領地を治めた。